

2023 vol.72 9月定例会



# つわの議会だより

山口県宇部市からの体験者

## つわの栗ひろい体験

場所 津和野町高峯

日時 9月10(日)・16(土)・17(日)

主催：津和野栗再生プロジェクト推進協議会

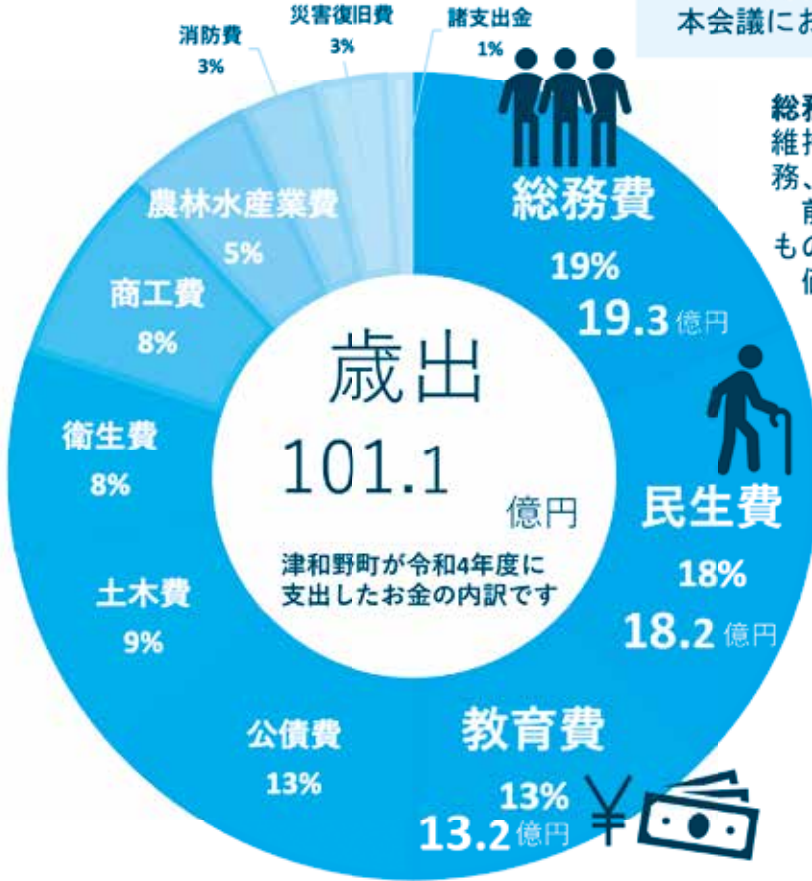


令和4年度

# 決算 審査

## 令和4（2022）年度の津和野町のお金の使い道を審査しました

9月定例会において決算審査特別委員会を設置し、令和4年度各会計を審査しました。本会議において全ての会計決算を認定しました。



総務費は通常必要とされる経費で庁舎等の維持管理、一般的な管理事務、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費など。前年度と比べて4.9億円の減。減の主なものは城山整備事業等。増の主なものは価格高騰緊急支援給付金等。

民生費は社会福祉・高齢者福祉・児童福祉等に関する費用。前年度と比べて5,100万円増。

増の主なものは障害者福祉センター増築棟整備事業等。

公債費は借り入れた町債の返済に関する経費。繰上げて返済した。前年度と比較し4,700万円増。

### 実質公債費比率

10.2%(全国町村平均7.7%)  
昨年度対比プラス0.6ポイント

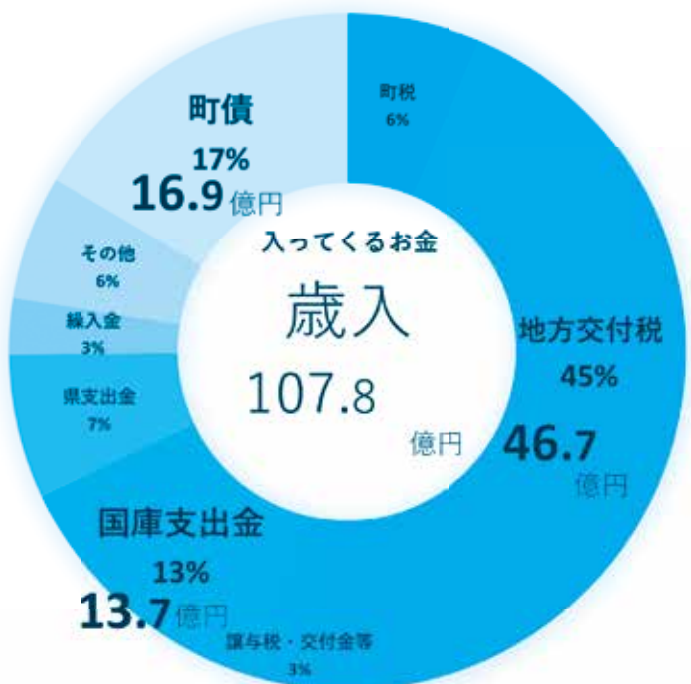
実質公債費比率とは、借金返済のためのお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことです。(少ないほうが良い)

### 審査意見

○令和4年度基金残高は、一般会計基金33億1776万1563円(前年比4051万8139円増)である。地方債残高は、総額146億4935万7千円(前年比3億6084万4千円増)であり町民1人あたりの負担額に換算すると219万2千円である。

○実質公債費比率は10.2%で前年度より0.6ポイント悪化している。上昇をできるだけ抑えるため、引き続き計画的な繰上げ償還の実施、有利な財源の活用、経常的経費の抑制等に努められたい。

○町県民税の収納率は99.4%で県内第2位であり、収納努力を高く評価するものである。



# 令和4年度 決算 審査

**問 令和3年度～令和5年度年度までの職員数(正規職員・会計年度任用職員)は。**

**答え** 職員数は下表のとおりである。いずれの年も4月1日現在

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
正規職員	133人	133人	135人
再任用職員	5人	5人	6人
会計年度任用職員	189人	217人	195人
内(フルタイム)	(39人)	(42人)	(39人)
内(パートタイム)	(150人)	(175人)	(156人)

**問 国体(2030 島根かみあり国スポ・全スポ)に向けて整備したクライミングウォールが整備されているが活用されているか。**

**答え** 令和4年度の使用者は、下表のとおりである。

池河公民館	729人
旧木部中学校	234人
津和野中学校	471人 (給食センター工事のため4月～9月使用中止)

今年5月に有志が集まり連盟を作っている。

7月には指導者を招き小学生を対象に体験会を行った。

**問 中座児童公園土地借地料が払われている。公園として整備されているのにSL撮影者の駐車場になっている。公園として使えないのではないか。**

**答え** 駐車場になるのは良くない。商工観光課と相談していく。

**問 伝統文化館の活用状況は。**

**答え** 舞台の照明をLEDに交換した。5mの高所にあるので足場を組む必要があり、高額となった。太鼓の団体の練習や、太鼓の保管に使われている。

観光客が太鼓の練習風景を見学したり、体験をしたりしている。

**問 奨学金について**

**津和野町には貸与型奨学金しかない。就職してから奨学金を返還するために経済的困難に陥る人もいる。給付型奨学金は作れないか。**

**答え** 財源が難しい。原則卒業して半年後から10年間で返還にしている。本人の経済状況にあわせて相談にのっている。

# ～本庁舎・津和野庁舎ともに改修が進む～

## 令和5年度津和野町一般会計補正予算（第2号）（千円以下切捨）

歳入歳出それぞれ、4億 1764 万円追加し、総額 100 億 6458 万円とするもの

### 主な事業

・個人情報安全管理措置対応マニュアル作成等委託料	264万円
・減債基金積立金	5000万円
・津和野庁舎補強改修工事設計業務委託料	461万円
・本庁舎3階の施設改修実施設計業務委託料	425万円
・津和野庁舎合併浄化槽撤去工事	800万円
・旧日原保育園園舎解体工事請負費	8888万円
・自治体DX推進事業支援業務委託料	187万円
・つわの住まいる応援事業補助金	665万円
・津和野町定住支援体制整備基金積立金	130万円
・シルクウェイにちはらグラウンドゴルフ場クレーコート整備工事負担金	113万円
・障がい児保育対策事業補助金	281万円
・斎場待合ロビー空調機更新	314万円
・林業振興地域おこし協力隊事業委託料	120万円
・有害鳥獣捕獲奨励事業費補助金	245万円
・観光誘客業務委託料	100万円
・道路維持業務委託料	2078万円
・学校給食センター調理器具購入	2135万円
・GIGAスクール構想の策定業務委託料	669万円
・学校の暖房機器更新	245万円
・多胡家物見壁塗り替え等修繕料	212万円
・安野光雅美術館玄関・展示室空調等更新工事	297万円
・林道施設災害復旧工事（6路線）	3839万円
・瀧元下水路災害復旧工事	200万円
・町道三畝線・猪ノ谷線災害復旧工事	3149万円

### 主な財源

・普通交付税	9500万円
・国庫補助金	4557万円
・県補助金	3702万円
・繰入金	1090万円
・繰越金	9056万円
・諸収入	548万円
・町債	1億3224万円

令和5年第5回9月定例会が、令和5年9月8日に招集されました。（会期は26日までの18日間）  
一般会計補正予算（第3号）をはじめとする補正予算、条例の一部改正などの議案を審議しました。



### 令和5年8月臨時会 契約の締結

●令和5年度 中座団地住宅  
建設工事請負契約の締結

一般競争入札  
金額 1億9547万円  
工期 令和6年3月31日  
契約の相手方 (有)ナガヨシ技建

●令和5年度 津和野藩主亀  
井家墓所災害復旧工事請負契  
約の締結

一般競争入札  
金額 7168万7千円  
工期 令和6年3月29日  
契約の相手方 (有)山田土木

### 条例改正

◎津和野町道の駅の設置及び  
管理運営に関する条例の一部  
改正

◎津和野町職員の特殊勤務手  
当の支給に関する条例の一部  
改正

◎津和野町議会議員の請負の  
状況の公表に関する条例の一  
部を改正

### 条例廃止

◎津和野町水辺施設「オシド  
リ観察小屋」の設置及び管理  
に関する条例の廃止について



「シルクウェイにちはら」にある「オシドリ観察小家」

### 契約の締結

◎令和4年度町道一の谷線落  
石対策工事請負変更契約の締  
結

変更前の金額 3118万9950円  
変更後の金額 6158万2000円  
契約の工期 令和6年2月28日  
契約の相手方 (有)山田土木

### 指定管理者の指定

◎公の施設の指定管理者の指  
定について

・道の駅津和野温泉 なごみの  
里

指定管理者 三保電機(株)会社  
指定管理料 3809万円  
指定する期間 令和6年4月1日から  
令和11年3月31日まで

・津和野町グラウンドゴルフ場

指定管理者 (株)津和野開発  
指定管理料 397万4000円  
指定する期間 令和6年4月1日から  
令和11年3月31日まで

・高津川清流館

指定管理者 (株)津和野開発  
指定管理料 84万3000円  
指定する期間 令和6年4月1日から  
令和11年3月31日まで

・津和野町内美 野中高齢者作  
業施設  
指定管理者

指定管理料 0円  
野中里山倶楽部

指定する期間 令和6年4月1日から  
令和9年3月31日まで



グラウンドゴルフ場(手前)と高津川清流館(奥)





かわだ つよし 議員  
川田 剛

# Q 家族経営事業主の物価高騰 対策支援はしないのか

## A 客観的な雇用不足が認められれば 対象とする

主な新型コロナ対応地方創生推進事業	金額(単位:万円)
地域公共交通対策事業	31
道の駅物価高騰対策支援	810
原油価格高騰に対する支援事業(健康福祉)	365
原油価格高騰に対する支援事業(医療対策)	1981
農業用肥料費等価格高騰対策支援	200
林業用燃油価格高騰対策支援	113
粗飼料緊急確保支援事業	119
林業コスト価格高騰対策事業	930
個別商業包括的支援事業	450
エネルギー価格高騰対策支援	950
地域一体連携型事業者支援事業	500
価格高騰重点支援給付金	3372

**問** 6月定例会において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業費が1億318万円計上された。  
内訳は、左表のとおりである。

この内、中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援(950万円)については、補助対象者の条件で「2023(令和5)年7月1日において、主たる事業者以外に1名以上の雇用者(家族雇用者は除く。)を要する事業者等であること」とあった。

この事業で、この条件を満たす事業者数と満たさない事業者数はそれぞれ何件か。  
**町長** 質問の条件の件数は把握できてないが、商工会によると、「従業員を有する事業者数」では115件、「有さない事業者数」が126件である。

**問** 多くの個人事業者が該当しない。不公平感が出ている。この条件を盛り込んだ経緯は。  
**町長** 国のコロナ経済対策の推奨メニューに沿って要綱を構築した。

予算の範囲内で最大かつ効果的な支援ができるよう商工会、観光協会と津和野町で、町の経済状況の把握を行った上で要件を制定した。

**問** この条件に該当されなかった事業者に対する所見と、今後の対応は。  
**町長** 今回は雇用施策の視点を含んだ制度設計である。

これまで商工業事業者の方には、多くの支援制度を実施してきたことから、この度は一定程度の要件設定、給付の下限規定等の制限を設けたことをご理解いただきたい。また、7月1日時点で、「ハロー

ワークで募集していたが応募がない」、など客観的に雇用をしようとしていたことが認められれば、給付の対象とする。  
また、国から新たな経済支援対策が出た場合、この度の

# Q 本庁舎3階の使用はまだか

## A 実施設計の予算を計上した

**問** 令和3年12月、「災害時等における避難場所として役場本庁舎3階の使用を求める請願」は、「基本設計を早急に進められ枕瀬地区及び日原地区の指定避難所として開設されることを強く要望する」旨の審査意見が付され採択された。

役場本庁舎3階の使用について、町長の所見は。  
**町長** 令和4年度において使

ご意見を踏まえて要件設定したい。  
**問** まずは、今回の対策について周知をお願いしたい。  
**町長** 周知する。

用範囲や施設改修等の検討を行った。  
可能な限り事業費を縮小し、災害時の避難所として配慮しつつ、必要最低限の改修をする計画として、この度425万円の実設計委託料を補正予算に計上した。改修範囲や工法、使用範囲等を含め全体事業費を勘案しながら詳細を検討し、施設整備を行いたい。



本庁舎3階(外観)



本庁舎3階(内部)





寺戸 昌子 議員

# Q 町立図書館の図書を自治会、町内会単位で貸し出しはできないか

A できない

**問** より広く町民に読書の機会を持てるよう施策を充実させるべきだ。

読書は、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力などを育み、個人が自立して、他者との関わりを築きながら豊かな人生を生きる基盤を形成する。

千葉大学の研究結果では、「本・雑誌または新聞を読むことは、読書が趣味かどうかにかかわらず、認知症リスクの低下につながる」と示唆されました」とある。

読書は、子どものみならず大人にとっても生涯を通じて極めて重要なものだ。

町内では自宅から図書館が遠いため、図書館を利用したくても利用することが困難な町民が多数存在する。「年を取り、遠くまで歩くのがつらくなった。図書館が遠いので今は行けなくなった」という声を聞く。このような町民でも図書を借りられるような対策が必要ではないか。

公民館を軸に自治会、町内会単位での図書の貸し出しはできないか。

**教育長** 図書の運搬は人的に困難であり、設置先の図書

の管理の責任の所在が不透明になるなど課題が多いから実施は難しい。

**問** 貸出先の名簿を自治会や町内会が作れば、管理の責任は貸出先の個人になるのではないか。

**教育長** ならない。

**問** 移動図書館もしくは、人が図書館に移動できるような交通手段を作れないか。

**教育長** 移動図書館は、専用車両とそれに携わる人員が必要になる。図書館までの移動手段の提供も新たな財政負担を伴うので実施は難しい。

**問** 公民館での図書の貸し出しが行われているが、公民館の負担が増えない程度に充実はできないか。

**教育長** 各公民館を軸にした図書の貸し出しをさらに活かせるよう検討、対応したい。



# Q 介護者の交流の場の充実を

A 新たな介護者の会の立ち上げを支援もしている

**問** 介護者は悩みを一人で抱えて孤立しがちなので集いの場所が必要だ。

津和野町には認知症に関する人が気軽に集える「つわのオレンジカフェほっと」があるが、カフェの内容や参加者の様子などその開催状況は。

**町長** 町内3会場で月に一度開催されている。認知症介護経験のある家族の方、認知症キヤラバンメイト、認知症サポーター住民有志の方が運営を担っている。医療対策課は活動支援を行っている。近年は認知症サポーター医から、会をご紹介いただき参加者が増えている。

地域の任意団体である「つわの介護者の会」では、介護経験のあるご家族や現在介護中のご家族が集い、研修や悩みの相談活動を行っている。新たな介護者の会の立ち上げの支援も行っている。



認知症サポーターグッズ 厚生労働省ホームページより  
左からバッジ、腕輪

# Q 山村開発センター代替施設に住民の意見を

A 意見交換を行いながら進める

**問** 山村開発センターに変わる文化的施設の建設計画が進行中だが、進捗状況と今後の予定を問う。

**教育長** 旧第2庁舎等の解体工事と解体後の敷地造成工事の実施設計と新しい施設の基本・実施設計を進めている。下半期に解体工事の発注を行

い、今年度で解体工事を完了したい。次年度以降に造成工事建設を進めたい。

**問** 住民の意見を聞く努力を。

**教育長** 現時点で具体的な要望等は出てないが、説明会を開催し、意見交換を行いながら進めていきたい。



よこやま もとし  
横山 元志 議員

# Q 参事職の配置はしないのか

## A 庁議に諮った上で判断したい

**問** 現在、参事職が配置されていないか

**町長** 行政運営上、弊害はないと認められ、町民への影響も軽微であると当時の庁議にて確認したから。

**問** 「職員の長として」、また「分野横断型プロジェクト等の統率を取る」役割として参事は必要である

と考えるが。

**町長** 「職員の長として」の役割は町長・副町長が担っている。

「分野横断型プロジェクト等」の統率も町長・副町長が取っている。

### Q 津和野街道交流連携協定の将来展望は

#### A 一過性に終わらない、継続的に取り組みたい

**問** 6月11日に廿日市・吉賀町・津和野町の1市2町で連携協定を締結したが、どのような将来展望と計画があるのか。

**教育長** 地域資源の掘り起こしを行い、それらを事業に繋げるためのビジョンを策定し、一過性に終わらない継続した交流事業を展開する予定。

**問** 津和野街道と合わせて、山陰道など古

く、山陰道など古

ただ、これまで「分野横断型プロジェクト」という観点から参事の必要性を検討したことはなく、今一度、庁議で諮った上で判断したい。

**問** 以前、参事が配置されていたときには、課長職と兼務だったから必要ないと考えられたのではないか。

私の見解として、専任でないという意味がない。

専任であれば考え方もかわったのではないか。

**町長** 庁議に諮った上で判断したい。

道の整備の計画と進捗状況は。

**教育長** 廿日市市の関係者から、かつての街道位置を確定するための協力依頼があり、資料及び現地確認を進めている。

また、山陰道については2021（令和3）年度に整備基本計画を策定しており、2024（令和6）年度から10年計画で整備事業を実施する

計画である。

**問** 津和野街道という名の古道にもかかわらず、廿日市市の関係者側から協力の依頼があるとは、何とも寂しい。むしろ、こちらから協力の依頼をするべきであるが、温度差を感じる。

**教育長** 1市2町で対応を充実させていきたい。

山陰道について、草刈り等は地元の方に依頼はしているが、なかなか実施に至っていない。

文化財という観点で、集落支援員を雇用しており、草刈り等維持管理について実施していきたい。

**問** ご寄付をいただいで整備した城山であるが、5年先までの計画はあるが、その後の計画はないとのことだったが、現在も計画の策定はしていないのか。

**教育長** 整備計画はないが史跡津和野城跡保存管理計画に基づき、石垣修理などの保存修理事業を進めているところである。

引き続き維持管理に努めて

いきたい。

**問** 津和野街道・山陰道・城山など大きく関わりあるものであると思うが、ランドデザイン等あるのか。

**教育長** 文化財の中核である津和野街道は、町内の中座地区において山陰道野坂峠越につながり、津和野城跡を正面に望むことができる。

当時の歴史において重要な位置を占める文化財であり、いずれも国指定史跡である。

津和野街道の起点付近でもあるこれらの象徴的な文化財の整備を進めていくとともに、保存活用を図っていき







よねざわ ひろふみ  
米澤 宏文 議員

# Q 郷土館の25億年前の岩・フランキ砲を日の当たる場所へ

## A 郷土館の見学が見やすくなるよう努める

**問** 津和野町の三つの宝物を一堂に展示し観光振興と訪町者の促進を図っては。

一つ目は、日本最古の25億年前の花崗片麻岩は平成31年3月に発見され現在、郷土館に展示。

津和野町で発見された町の宝とともに国の宝物。

令和元年に郷土館で盗難に遭った石の行方は。

**教育長** 現在まで発見の報告無し。

**問**

鉱脈の大きさは。

**教育長** 鉱脈は東西2km南北0.5kmの一部。

**問**

今後の活用計画は。

**教育長** 文化財指定を検討する。

**問**

一つ目は、フランキ砲。世界に10門、国内に6門、津和野町に5門を有する宝物。

国内の1門は東京靖国神社の資料館「遊就館」に展示。

津和野神社所有のフランキ砲は国宝または重要文化財並みでは。

日本に初めて伝わった大砲であり徳川家康がフランキ砲

で最強の城、大阪城を攻略し「国崩し」と呼ばれる。

三つ目は、細石の鑑定。国歌「君が代」の歌詞にある「細石の巖となりて」の細石と思われる岩が津和野川鷲原の川底に数個有る、鑑定依頼をされては。

**教育長** 機会があれば専門家の確認を検討。

**問**

以上の町の三つの宝物を観光客が集中する殿町に展示し観光の目玉とされてはどうか。

もし細石で無かった場合に

### 津和野町三つの宝を殿町に一堂展示で観光振興

津和野町で発見  
日本最古の岩  
25億年前の  
花崗片麻岩



津和野神社所有  
フランキ砲5門  
世界に10門、日本に6門



津和野川鷲原の  
細石と思われる岩  
国歌君が代のさされ石?  
重要天然記念物



は1M角位の花崗片麻岩を採掘しフランキ砲と展示しても効果は抜群と思われるが。

郷土館に展示の花崗片麻岩・フランキ砲共に日の当たる場所へ移動すべきでは。

花崗片麻岩、フランキ砲、細石ともに見たことのない町民の方も多い。

未鑑定の細石も本物であれば

## Q 堀内御番所公園をバス停とするべき

### A 日本遺産の構成文化財として活用も進める

**問** 堀内御番所公園を敷地購入目的のバス停留所とするべき。

多額の経費で建設された公園であり有効活用が望まれる。

小学児童が横断歩道を渡らなくてもよい停留所を設置することで交通安全の向上や降雨、降雪、強風などの自然現象からの健康保持となる。

御番所公園通路部分に停留所の設置を津和野警察署と協議するべき。

近所の方の話では、一般の方の休憩所利用は、ほとんど無い。小川方面へ帰る児童は天気の良い日は、築山を走って遊んでいるのを時たま見かけるとのこと。

一堂に展示し、簡単に町三つの宝物を鑑賞できるようにするべき。

**教育長** 貴重な文化財を盗難等から防ぐため、昼夜管理可能な施設で展示の必要があり、郷土館内展示の花崗片麻岩・フランキ砲であり、観光客や町民に見学がしやすくなるよう、情報発信に努める。

中座、畑迫方面の児童にほとんど利用価値がないと思われる。

バスは校門通過後、すぐ折角、建設された公園である。現状の公園の在り方の批判に 대응するためにも、ほかに有効利用の案はあるか。

**教育長** バスを校門に入れての巡回は児童の安全確保の必要からできない。日本遺産の構成文化財として活用を進める。

堀内御番所公園  
横断歩道を渡らないバス停



# Q 人口ビジョンを踏まえ、当町の将来像は

## A 今後は子育て世代にターゲットを絞った施策も考えていきたい



たなか うみたろう  
田中 海太郎 議員

**問** 当町の人口ビジョンの中で、当初の予測より人口が増えている。その要因は何か

**町長** 子育て関連給付金や農業奨励金などの施策の効果と思われる。

**問** 産業別就業人口の年齢構成をみると、農業と商工観光業の高齢化が進んでいる。今後の対策は。

**町長** 農林課では、担い手確保のために新農業人フェアな

### Q 特定地域づくり事業協同組合の評価と課題は

A 派遣職員が不足しており、今後協同組合と町で連携し、職員確保に努めたい

**問** 現状、利用者である組合が17者に対し、派遣職員は3人と聞く。町として最低限必要な職員は何人想定しているか。

**町長** 少なくとも6名は必要。募集方法はHPPやハローワーク、Uターンフェアなどの手段で行っている。

**問** そのような手段も必要だが、金銭面では他業種にかなわない。特色ある働き方をもっと伝えるべき。

一方、この制度を知らない町民は多く、その方々に広報すべきでは。

どに参加して農業者の確保に努めている。

商工観光課としては、事業継承の支援を行っている。

**問** 人口ビジョンに基づき、今後の当町のありべき姿は。

**町長** 教育移住を軸に各種施策を展開してきた。今後は、「子育て世代」の施策を新たに加えて、人口減少対策に全力を注ぎこみたい。

**町長** 持続可能な組織にしていくためには、今後町民にも広くPRしていく。

**問** 現在、組合の事務局長は事務作業を一人で行っており、広報や営業、巡回など出来ていない。これこそ重要な仕事なので、専門職を付けるべきでは。

**町長** 必要性は感じているが、予算的に難しい。今後、地域おこし協力隊制度を使えば考えたい。

**問** 現在の組合は農業が主だが、全国的に見たら様々な業種に渡っている。派遣職員を増やすために

も業種の選択肢を増やすべきだが。

**町長** 農業中心の組合は全国的にも珍しく、注目されている。その特徴を当町では活かしていきたい。

**問** 農業は研修の後、自立していく。持続可能とはいえない、他分野に広げて考えるべきだ。

また派遣職員との対話の場がないという声があるが、そのような意見や不満を聞く機会はあるのか。

**町長** そのような場は必要。今後検討していく。

**問** 組合は福利厚生が充実している反面、週4日以上勤務という縛りがあり、人材不足の一因となっている。パートタイム制の導入は考えていないか。

入は考えていないか。

**町長** これは国の制度上の問題であるため、直ちに実現は難しい。

**問** 智頭町では「これをただの派遣事業として、税金や人手を投入しても、その産業が衰退するまで時間稼ぎをするだけになりはしないか」と危惧している。当町もその危機感をもってもらいたい。

改めて、最後に町長の所見は。

**町長** 事業協同組合の成功例を観ると、派遣職員自身やりがいを持ち、この地域に住んで、生活のビジョンを明確に持つ事である。そのために、更なるコミュニケーションを取っていききたい。







おおえ れい 議員  
大江 梨

# Q 脱炭素事業を通じた持続可能な地域の在り方

## A 木質バイオマスガス化発電を中心に取り組む

**問** 脱炭素化事業を通じて津和野町はどのようなまちづくりに取り組んで行くべきか。

**町長** 経済活性化・地域内経済循環の観点として、再生可能エネルギー設備の導入を推進し、電気を地産地消する事で、これまで町外に流出していたエネルギー代金を町内に留めることができる。

そのためには新電力会社を町内に設立する必要がある。それによって町内の電気料金を比較的安く抑えることにも可能性がある。発電により得た利益などをまちづくり事業に再投資するなど新しい施策の可能性も広がる。

防災の観点からは再エネと蓄電池等の設備の活用により災害時における停電等の非常事態に対応できる体制を構築することも可能であると考えている。

**問** 新電力会社について具体的な構想があるか。

**町長** 現段階では具体構想はない。大きな自治体は民間も参入し新電力会社が立ち上がっている。津和野町の人口規模では、なかなか運営が難

しいだろうが目指していきたくは考えている。

**問** 庁舎を中心に再エネと蓄電池を整備する具体的な目処はあるか。

**町長** 現時点での目処はない。今後、町が行うハード整備に関しては脱炭素を意識して行っていく。

**問** 2022（令和4）年度に策定された「津和野町地域再エネ導入戦略」について。津和野町で潜在能力のある再生可能エネルギーは何か。

**町長** 町の面積の約9割を占める森林資源を活用できる木質バイオマスガス化発電が最も潜在能力が高く、最大2千世帯の電力を賄える森林資源がある。

**問** 太陽光や中小水力発電の潜在能力はどれくらいあるのか。

**町長** 今年度の事業で詳細を調査中である。

**問** 木質バイオマスの潜在能力を最大限引き出すために必要なことは何か。

**町長** 木材の供給力を高める必要がある。そのためには林業従事者の数も足りておらず、搬出可能な場所を増や

すには作業道を整備していく必要もあり時間はかかる。

**問** 今後、どのような財源を確保して脱炭素化事業を進めていくのか。

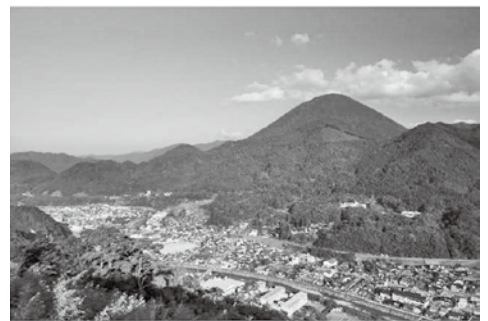
**町長** 5年間で最大50億円が交付される「脱炭素先行地域」へのエントリーも視野に入れている。補助率は下がるがその他にも補助事業があるので、最適なものを見極めて活用していきたい。

**問** 脱炭素化事業を通じて津和野らしい地域づくりについて担当課としてどのような理想のイメージがあるか。

**町長** 山に人が住める仕組みを作らないといけないと考えている。エネルギーが化石燃料になつて以来、中山間地の過疎化が進んでいる。高度経済成長期に失った山の資産的価値を木質バイオマスガス化発電で取り戻したい。

**問** 町長の脱炭素化事業に対する所見は。

**町長** 脱炭素に取り組む事で町民にメリットが生まれてくることも大事。その中で期待をしているのがJクレジット制度である。これを財源として町民に還元する流れを作りたい。



R4年度に策定された「再エネ導入戦略」は津和野町のHPで閲覧可能



バイオマスガス化発電所で使用されているVolta40 12台が並ぶ

# 全員協議会

令和5年7月11日

## ◆懲戒審査委員会に関するこ と

「津和野町職員懲戒審査委員会訓令」を協議した。

### 〔設置〕

第1条 一般職の職員の懲戒に関する事項を審査するため、津和野町職員懲戒審査委員会を置く。

### 〔組織〕

第2条 委員会は、委員長及び委員4人をもって組織する。  
2 委員長は町長をもって充てる。  
3 委員は、次に掲げる職に有るものをもって充てる。

- (1) 副町長
  - (2) 教育長
  - (3) 参事
  - (4) 総務財政課長
- ※(組織) 第2条について協議し執行部に提言した。

「委員長は町長以外の者が望ましい。委員には外部の者を入れるべき。」

※ 全員協議会は「議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行う場」です。



## 議員研修

令和5年度

### 津和野町議会議員研修

#### 目的

第一法規株式会社が開催する全国の地方議会議員を対象としたオンライン研修を受講し、議会及び議員の活動に資

する。招集は議長が行います。傍聴については議長が判断することになります。

必要に応じて町長その他執行機関の職員や、行政委員会の委員長の出席を求めることができるよう措置してあります。

するため。

#### 研修日

令和5年7月28日(火)  
令和5年8月25日(金)

#### 場所

津和野町役場本庁舎2階  
第5会議室

#### 出席者

津和野町議会全議員

#### 内容

「これだけはやってはいけない議員活動の注意点 オンラインセミナー」

主催：第一法規株式会社

#### 講師

弁護士 帖佐 尚美 氏

## 請願審査

### ◎文教民生常任委員会

この度、2件の請願が文教民生常任委員会に付託され、それらの審査を行いました。

#### 請願1号

### 喜時雨の下水道整備に関する

#### 請願

### 審査結果 不採択

#### 【請願概要】

津和野町の当初の下水道整備計画では喜時雨地区も計画区域となっており、下水道整

備について2016(平成28)年と18(平成30)年に住民アンケートが実施されたが、加入の意向を示す住民が半数程度であったこと。

また財政的な理由から喜時雨地区の下水道整備は行わないという結論に至った。

また、その結論とアンケート結果については令和元年に自治会に伝えられているが、地区内の排水路の悪臭問題や農業用水路への生活排水混入等の問題もあり、地区住民より下水道整備の必要性を訴える声が高まり、本請願の提出となった。

#### 【調査内容】

下水道整備の工費は約3億円。現在、整備中の箇所も加入率が課題となる中、財政的にも新たな地区の整備は困難である。

加入率ほぼ100%の確約が喜時雨地区・高田地区で得られるのであれば、再度計画の俎上に載せることはあり得る。

喜時雨地区では今回の請願提出に向けて、全戸分の署名を集めているが、加入意思を



示すものではないと自治会長より説明を受けている。

下水道接続は個人負担金額も大きいため、喜時雨地区のように高齢化の進む地域では、下水道への接続が進まない可能性が高い。

また、請願書によると、農業用水への生活排水の混入の問題や排水路の悪臭の問題改善のための下水道の整備という側面が強く、下水道整備以外の方法で問題を解決できる可能性があるため、現地調査を行なった。

現地調査で確認された下水道以外の課題について関係各課と協議を行い対応を要請した。

### 【審査結果】

町の財政状況、また地区住民の下水道加入の見込みを鑑みた場合、下水道を整備することは困難である。

現在の地区の課題に対しては、農業用水路整備の補助金や合併浄化槽の補助金を活用する等、住民の努力と行政の協力のもと、下水道整備以外の方法で解決を目指すことが望ましい。

### 【審査意見】

本請願は不採択と決したが、汚水処理は当町における社会課題の一つである。

下水道未整備地区の生活環境向上・自然環境配慮のために、合併処理浄化槽の普及に向けてより一層努力されたい。

また、この度の請願審査の過程で明らかになった各種の課題に対して、引き続き関係各課と地域住民で解決に向けた方策を検討されることが望まれる。



### 請願第2号

### 外国人技能実習生採用のための住まい確保に関する請願

### 審査結果 不採択

### 【請願概要】

つわの福祉会では令和5年10月より外国人技能実習生2人の受け入れを予定しており、住まい確保の必要がある。

そこで、特別養護老人ホームシルバリーフに隣接する一般住宅を取得・改修後、外国人技能実習生の住まいとすることを計画しているが、費用面から取得・改修が困難であることから、支援を求めるため本請願の提出となった。

### 【調査内容】

当該物件は築年数が古く、耐震改修ができないため空き家改修補助金を使用できない。また、法人内で定住促進住宅の利用も検討がなされたが、シルバリーフに隣接しているという立地条件、また当該法人に対する所属自治会の理解・支援が得られていることから当該物件が最適であるとの見解であった。

本調査にて、橋井堂が指定管理を行う医療従事者住宅活用の可能性について調査したが、空きがなく貸し出しはできない状況である。

今年度、当該物件で利用できる補助金は空き家バンクに

登録した際に利用できる補助金（上限50万円）のみであり、現時点での新たな補助金創設は困難である。

### 【審査結果】

外国人技能実習生の受け入れがすでに10月に迫っている状況において、現時点で新たな補助金を創設することは時間的、予算的に困難である。

また、これまで町内の他業種では外国人技能実習生の受け入れは、全て受け入れ法人の負担で行われていること、近隣他市町村の介護現場での外国人技能実習生の受け入れにおいて助成が行われている事例が見られないことから、現時点での一法人への助成は不相当であると考えられる。

### 【審査意見】

本請願は不採択と決したが、介護人材の確保は町として喫緊の課題であり、人材確保に向けた努力を行う必要がある。

外国人技能実習生については今後の国の制度改正の内容も踏まえ、町としてどのよう支援をしていくのか検討を行っていくべきである。

# 所管事務調査報告

## ◎総務経済常任委員会

コロナ後の津和野町の経済について、現状と課題を調査した。

### 農林課

#### 【調査概要】

- 農業用肥料費等価格高騰対策支援補助金  
価格転嫁が難しい農家への補助金
- 林業用燃油高騰対策支援補助金  
所得への影響を受けやすい林業事業者や個人事業主等への補助金
- 粗飼料緊急確保支援事業補助金  
経営が悪化する畜産農家への補助金
- 林業コスト価格高騰対策事業補助金  
木質チップ材製造業者に対する補助金

#### 【調査意見】

肥料・飼料の高騰は、当町の農家を非常に圧迫しており、高止まりが続くと思われる。高騰対策としての補助金は経営継続の一助としているものの、いつまで続くのかわからない。当町としても、肥料・飼料の高騰対策を、農業者と共に講じていく時期にきている。

一例を挙げると、公共施設や各家庭で廃棄されてきた生ごみや、町道脇の雑草や落葉を活用して堆肥化する取り組み

みなど、今後検討する必要があると思われる。

バイオマスガス化発電に関しては、もともと木材量の確保が懸念されていた。しかし、コロナ禍において燃料費の対策が間接的ではあるが木材価格を押し上げ、近隣の発電所との競争に遅れをとっている。木材量を増やさないとけない。林業従事者の育成策に力を入れ、作業道の開設とそれに伴う木材の搬出に力を注ぐべきである。

### 商工観光課

#### 【調査概要】

国の施策として「新型コロナウイルス感染症特別貸付」等があり、融資の実績があるのは商工会を通じて把握はしているが、直接金融機関等より融資を受けた場合など、全体数の把握はできてはいない。

制度融資より3年が経ち返済の始まっている事業者もいると推察するが、実態の把握はできていない。

町内の経済復興のため効果があると考えられる計画として、山口線利用促進と合わせて考えている。

#### ①山口線SL運行対策協議会

- ◎安全対策
- ◎沿線市町イメージアップ促進事業
- ◎広報事業
- ◎SL魅力向上事業
- ◎山口線全線開通100年事業
- ◎記念ロゴマークの作成
- ◎益田駅開業・山口線全線

開通100周年記念式典  
◎益田駅開業100周年記念号の旅

- ◎周遊スタンプラリー
- ◎JRを利用した沿線夏ツアー造成

③JRを活用した旅行商品への補助創設や公共施設利用料優待券の検討

#### ④パークアイランドの拡大検討

#### 【調査意見】

町は、いわゆる「ゼロゼロ融資」の全体を把握することは困難であるが、返済の難しい事業者がいると推察する。活用できる制度内容の周知に努め、支援を強められたい。

また、当町の経済を支える観光業において、山口線の利用促進は重要でありSLの復帰に向けた動きが見られるため、更なる広報やイベント等尽力されたい。

### ◎議会活性化特別委員会

#### 中間報告書

#### 開催日

- 第11回 令和5年7月11日（火）
- 第12回 令和5年8月4日（金）
- 第13回 令和5年8月10日（木）
- 第14回 令和5年9月12日（火）

#### ※特別委員会委員

議長を除く全議員

#### ※調査目的

議会運営及び議員活動の活性化と充実を図り、津和野町

の町民参加による協働の町づくりにより、津和野町議会基本条例の制定に向けた協議並びに同条例の在り方を検討するため。

#### ※調査の概要

第11回において、島根県町村議会議長会事務局長からいただいたご意見をもとに協議を行い、条文を精査した。  
第12回において、今後の協議の内容や日程等を確認した。  
第13回において、町長をはじめ各執行部に当委員会へ出席していただき、基本条例制定後に予算を伴うものや議会運営に関することについて意見を交換した。

第14回において、津和野町議会基本条例案に関連する津和野町議会議規則、津和野町議会委員会条例、津和野町議会傍聴規則、津和野町議会全員協議会規定他、規則等の見直しを行い改正案について議論を行った。

津和野町議会基本条例案は12月定例会において、当委員会より上程することを確認した。

関連する条例や会議規則の改正案は、議会運営委員会より議案を上程すること。議長が定めるものについては、議長において改正の手続きをとることを確認した。

#### ※調査の継続

本特別委員会の目的を達するため、引き続き継続調査とする。



提出者	議案・賛否表										道	大	米	横	沖	御	三	田	寺	川	結	果		
	○=賛成 ●=反対 棄=棄権 欠=欠席																							
<b>令和5年第4回(8月)津和野町議会臨時会</b>																								
町長	令和5年度中座団地住宅建設工事請負契約の締結										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	令和5年度津和野藩主亀井家墓所災害復旧工事請負契約の締結										○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決		
<b>令和5年第5回(9月)津和野町議会定例会</b>																								
町	津和野町固定資産評価審査委員会委員の選任 水津 良則氏 (池村)										無記名投票										同意			
	// 松本 康志氏 (後田)										無記名投票										同意			
	// 吉田 智幸氏 (森村)										無記名投票										同意			
	津和野町農業委員会委員の任命 青木 暢大氏 (添谷)										無記名投票										同意			
	// 三家本雅夫氏 (邑輝)										無記名投票										同意			
	// 田中 聖司氏 (商人)										無記名投票										同意			
	// 齋藤 康彦氏 (高峯)										無記名投票										同意			
	// 前田 生敏氏 (須川)										無記名投票										同意			
	// 永田 京子氏 (森村)										無記名投票										同意			
	// 林 靖登氏 (長福)										無記名投票										同意			
	// 吉田 茂氏 (直地)										無記名投票										同意			
	// 森元 健一氏 (枕瀨)										無記名投票										同意			
	// 有田 和将氏 (中曾野)										無記名投票										同意			
	// 岩本 学氏 (中座)										無記名投票										同意			
	町長	令和4年度町道一の谷線落石対策対策工事請負変更契約の締結										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
		津和野町道の駅の設置及び管理運営に関する条例の一部改正										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
		津和野町水辺の施設「オンドリ観察小屋」の設置及び管理に関する条例の廃止										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
		津和野町職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部改正										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
公の施設の指定管理者の指定(道の駅津和野温泉なごみの里)										●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// (津和野町グラウンドゴルフ場)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// (高津川棲龍館)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// (津和野町野中高齢者作業施設)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
令和5年度津和野町一般会計補正予算(第3号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 介護保険特別会計補正予算(第2号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 下水道事業特別会計補正予算(第2号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 診療所特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 病院事業会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
// 水道事業会計補正予算(第2号)										○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決		
町長	令和4年度津和野町一般会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定										●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 診療所特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 水道事業会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	// 病院事業会計歳入歳出決算の認定										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	請願	喜時雨地区に下水道整備の請願										●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
外国人技能実習生採用のための住まい確保に関する請願										○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択		
委員会	津和野町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の一部改正										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

津和野町固定資産評価審査委員会委員の選任 任期:2023(令和5)年12月6日~2026(令和8)年12月5日までの3カ年  
 津和野町農業委員会委員の任命 任期:2023(令和5)年12月1日~2026年11月30日までの3カ年

# 「つわの議会だより」読者モニター

町民の皆様には「つわの議会だより」のご感想を頂く「読者モニター」コーナーです。

今回は、農業委員会会長 林 靖登さんです。

農業委員会は、今年12月に改選を迎えます。現在、会長である林さんは農業委員を12年務められています。また農事組合法人もごうの代表として忙しくされています。



臼摺りをする林会長

―農業委員会とはどのような仕事をしていますか。―

農地の売買や転用について総会で審議したり、耕作放棄地の解消のために、農地パトロールをしたり、農地の貸借や利用に関して相談に乗ったりしています。

―今後、会長として一番力を入れている事は何ですか。―

まずは、地域の担い手の育成と、遊休農地の解消を目指していきます。

そして地域が目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する、地域計画を作成していきます。

―農業委員会のPRをお願いします。―

農業委員会を広く利用して頂くために、移動農業委員会を毎年秋に開催していましたが、コロナで開催を見合わせていました。今年は久しぶりに開催します。移動農業委員会は

津和野・日原各地区の道の駅での祭りにあわせて、ブースを出して、農地に関する相談を受け付けています。皆さん是非ご利用下さい。

―最後に「つわの議会だより」の感想を。―

いつも読ませて頂いています。先輩の方々は、情報を得る手段が少なくなりがちなので、今後も町の広報誌と共に、ポリウムある紙面を期待しています。

（聞き手 田中海太郎）

【農業委員会とは】

主に農地法に基づいた農地等の権利に関する業務、農業に関する相談や調査、その他農業に関する委託事業を行っている。

現在、津和野町の委員の定数は11人。



## 編集後記

表紙の栗拾いイベントは毎年、とても好評のイベントで町外から多くの参加があります。人気の理由は栗がとても大きくて美味しいのはもちろん、手入れの行き届いた栗園はとても気持ちが良い、そこからの眺めもとても素敵です。

広報委員の仕事も2年目になりました。最近、他市町の議会だよりを参考にしながら掲載内容を考えたりしています。

皆さんにお伝えしたいことがたくさんありすぎて、いつも文字がたくさんになってしまうのですが、レイアウト、デザインなどの「見た目」も読んでいただくためには重要な要素だと思っていますので、今後はそんな工夫もできたらと思っています。

皆さんのご意見もお聞かせください。

大江 梨

広報広聴常任委員会

◎米澤 右文 ○寺戸 昌子

川田 剛 田中海太郎

大江 梨 横山 元志